

三宅島における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Miyakejima Volcano

気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

東京大学地震研究所

Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

気象庁地震火山部火山課火山監視・情報センター

Volcanic Observations and Information Center, Volcanological Division, JMA

三宅島における2012年6月から2012年9月までの地磁気全磁力変化について報告する。

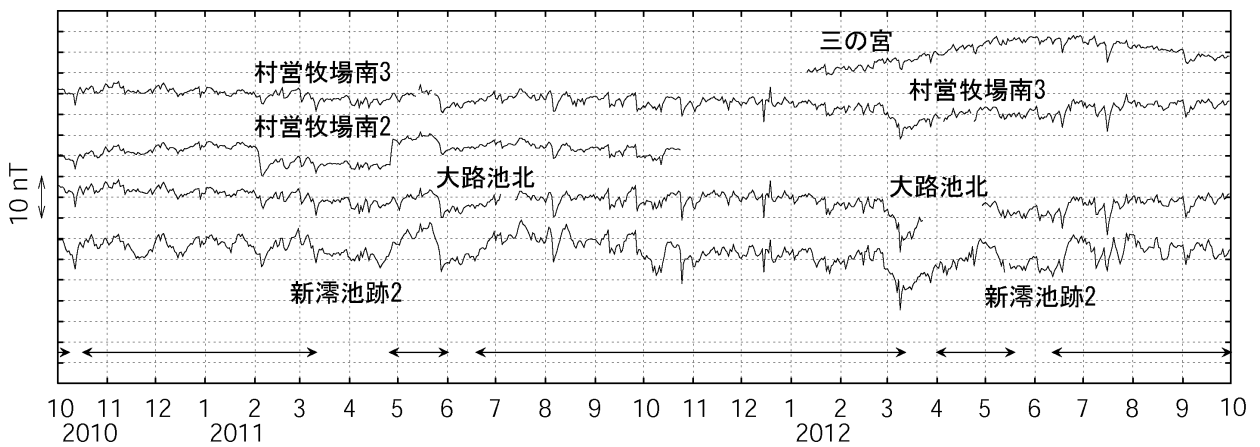
第1図に、三宅島における全磁力連続観測点の位置を示す。第2図に、雄山北東（参照点）の全磁力値を基準とした三宅島の各観測点の全磁力差を示す。第2図中の両矢印は黒潮の流軸が三宅島に接近している期間で、海流の影響で新霽池跡2や村宮牧場南3などの全磁力が増加したと見られる。三宅島から黒潮の流軸までの距離は海洋速報（海上保安庁）を参照している。地磁気全磁力変化からは年周変化・黒潮等の影響が見られるが、期間中変化傾向に変わりは見られず、特段有意な変化は観測されなかった。また参考に、2001年2月以降について、神津島黒島（参照点）の全磁力値を基準とした全磁力差の変化を、第3図と第4図に示す。

* 2012年11月26日受付



第1図 全磁力観測点配置図 (●: 気象庁、◎: 気象庁 (観測終了)、○: 東大地震研究所 (観測終了))。等高線は10m間隔。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図10mメッシュ (火山標高)』を使用したものである。(承認番号 平23情使、第467号)

Fig.1 Locations map of geomagnetic total intensity observation stations. the JMA and ERI stations are marked by ● and ○, respectively, and the JMA discontinued stations are marked by ◎.

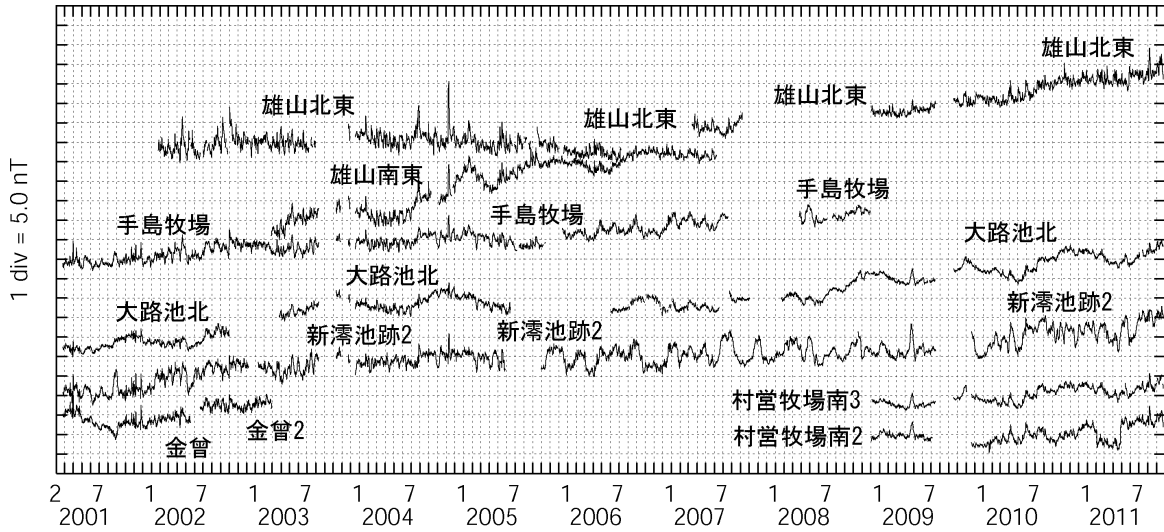


第2図 気象庁観測点の全磁力値と雄山北東 (参照点) の全磁力値の日平均差 (2010年10月～2012年9月)

Fig.2 Daily mean values of the geomagnetic total intensities of the JMA stations referred to the station Oyama-hokutoh (from October 2010 to September 2012).

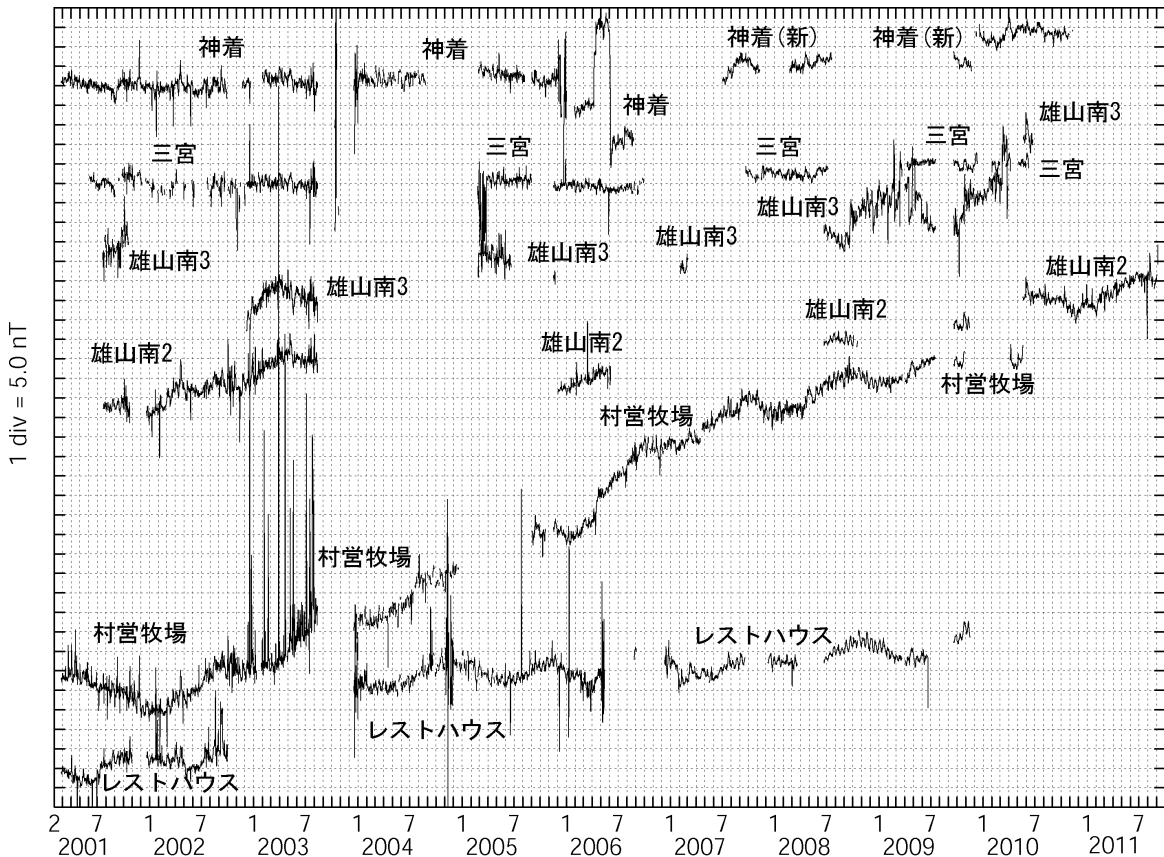
(参考)

2001年2月～2011年9月までの観測結果



第3図 気象庁観測点の全磁力値と参照点の全磁力値の日平均差 (2001年2月～2011年9月30日)

Fig.3 Daily mean values of the geomagnetic total intensities of the JMA stations referred to the station Kuroshima (from June 2001 to 30 September 2011).



第4図 東京大学地震研究所観測点の夜間全磁力変化(参照点との単純差) (2001年2月～2011年9月5日)

Fig.4 Daily mean values of the geomagnetic total intensities of the ERI stations referred to the station Kuroshima (from February 2001 to 5 September 2011) .